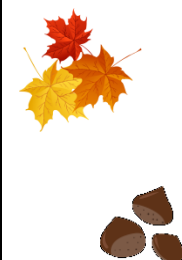


学校だより

9月号

港区立白金小学校

発行人 吉野 達雄
令和元年九月二日



子供たちのよりよい成長のために

校長 吉野 達雄

みなさんは、夏休みをどのように過ごしましたか。きつと、子供たちは、様々なことを体験したり経験したりして、大きく成長したことでしょう。

学校では、合唱団が大活躍しました。美しい声を響かせて、NHK全国学校音楽コンクールの予選、都大会を突破し、九月七日の関東甲信越ブロック大会への出場を決めました。たくさんの応援ありがとうございました。

また、五年生の夏季学園が実施され、箱根ニコニコ高原学園に行つてまいりました。カレー作りや十国峠ハイキングなど、様々な体験学習を行つてきました。成長した五年生の二期期の活躍が楽しみです。

【厳しい環境の中から学ぶ】
六月の道徳授業地区公開講座で、子供たちには「貧しさ」「ひもじさ」「寒さ」を意図的に体験させてほしいという話をしました。これは「人がよりよく成長するために、心や体に一定の負荷を与え、それを乗り越えないとならない」ということです。だからこそ、一定の負荷、いわゆる厳しい環境を意図的に設定してあげる必要があるのです。

また、「子供を不幸にしたければ、何でも買え与えない、好きなことばかりさせなさい」という言葉があります。我慢したり、苦手なことに挑戦したりする経験がなければ、これからの変化の激しい社会を生き抜くことはできないと思います。「転ばぬ先の杖」、ついで子供たちを心配するあまりに手助けが多くなってしまうのが、

【港区学校教育食育推進のモデル校に指定】

港区学校教育食育推進指針が策定され、実施するにあたり港区教育委員会が五校のモデル校を指定しました。本校はその一校に指定され、給食の時間を中心とした食育を進めています。「苦手なものを減らそう、食の大切さを理解しよう」を旨として、三年生と六年生を中心に取り組んでいます。食は生きていくことの基本です。ぜひ、子供たちのよりよい成長のために家庭でも話題にしてほしいです。

自然災害に備えて

生活指導主任 花井 拓也

夏休みはいかがお過ごしでしたか。本日、元気な子供たちの姿を見ることができ、無事に二学期をスタートすることができました。

今年度も山形県沖で大きな地震がありました。地震の恐ろしさを改めて感じるとともに、私達はいつ、どこで地震が起きても、落ち着いて行動できるように、日ごろから備えをしておくべきであることを再確認しました。また九州地方での大雨による被害や、全国的に高温による熱中症の被害が起きています。自然災害に人はどう対応すればよいのか、やはり考えていく必要があると思います。

学校では、毎年四月の避難訓練時に、各教室からの避難経路を、児童と確認しています。また、避難訓練を毎月実施し、地震・火事・津波など災害が発生した際には、どのように自分の身を守るのか、どのように避難するのかということを指導しています。月によって想定を変えており、使えない階段がある想定や、津波の恐れがある想定等があります。教員も児童も、毎月行っている様々な想定避難訓練に真剣に取り組み、実際に災害が起きても、冷静な判断で行動できるようにしたいです。

一学期末に配布いたしました「東京マイ・タイムライン」ですが、災害時等の緊急避難をご家族で考える冊子となっております。ぜひ活用ください。いざという時のために、ご家庭での身の守り方を話し合っていたいだきたいと思ひます。

二学期もどうぞよろしくお願ひいたします。

オリエンテーリング

特別活動部 坂 愛

七月十八日(木)に、オリエンテーリングが行われました。

これは、プラチナタイムの一つとし取り組んでいるものです。六年生をリーダーに縦割りの異学年集団でチェックポイントを回りチームで協力してゲームをクリアしていきました。どんなチェックポイントがあるかを事前に確認し、行きたい場所を考えたり、移動する時の約束や役割を決めたりして当日を迎えました。

本番では、どのコーナーでも、上の学年が下の学年を気遣いながら楽しく活動する姿が見られました。特に六年生は、全体をまとめる役として頼もしい姿を見せていました。

終わりの会では、楽しかったことやもつとこうすればよかったことなど思い思いに感想を出し合いました。体育館では、班長の振り返りを発表し、全体で感想を共有することができました。

一学期の終わりに、所属感や連帯感、仲間意識を深められたよい活動となりました。来年は、さらに充実した内容になるよう、プラチナタイムでの指導に力を入れていきます。